

【中学英文法】 名詞・冠詞

●名詞・冠詞のポイント

- ▼ 1 名詞の種類
- ▼ 2 名詞の複数形と所有格
- ▼ 3 冠詞の種類 (a と the、無冠詞)

▼ 1 名詞の種類

【数えられる名詞】

- ① 普通名詞：一定の形をした同じ種類のもの・人を表す名詞 (dog「犬」 book「本」 boy「少年」)
- ② 集合名詞：人や物のグループ(集合体)を表す名詞 (family「家族」 class「クラス」)

【数えられない名詞】

- ① 固有名詞：人の名前、地名、月など (Ken「ケン」 Japan「日本」 June「6月」)
- ② 物質名詞：一定の形を持たない物質や材料など (water「水」 air「空気」 bread「パン」)
- ③ 抽象名詞：性質、状態など、形のないもの (music「音楽」 peace「平和」 love「愛」)

◆ 不可算名詞の分類方法 ← 絵にしづらいもの(具体的な形にしづらい)

- ① 目に見えない
- ② 切っても OK
- ③ 元から「ひとまとめ」

① 目に見えない

information (情報) / news (ニュース) / advice (助言)
work (仕事) / homework (宿題) / peace (平和) / music (音楽) など。

② 切っても OK

water (水) / bread (パン) / sugar (砂糖) / air (空気) / cloud (雲) / chalk (チョーク) など。

③ 元から「ひとまとめ」

furniture (家具) / money (お金) / luggage[baggage] (荷物) など。

◆ 数えられない名詞 → 〈容器や単位を表す語 + of + 名詞〉

a glass of water	1 杯の水
two bottles of wine	2 本のワイン
three cups of coffee	3 杯のコーヒー
four pieces[slices] of bread	4 切れ（1 枚）のパン
five pieces[sheets] of paper	5 枚の紙

▼ 2 名詞の複数形

◆ 複数形の作り方

- ① ふつうは s をつける
- ② 語尾が ch, s, o, x, sh で終わるときは es をつける。（例外：piano → pianos）
- ③ 語尾が 〈子音字 + y〉 のときは y を i に変えて es をつける。
- ④ 語尾が f, fe のときは f, fe を v に変えて es をつける。
- ⑤ 不規則 （下図参照）
- ⑥ 単複同形 （下図参照）

トレーニング！

単数形	複数形	単数形	複数形 (不規則)	単数形	複数形 (単複同形)
dog		child		deer	
dish		man		Japanese	
tomato		foot		fish	
leaf		tooth		sheep	

◆ 名詞の所有格

- ① 「～の」という意味の所有格は、人や動物を表す名詞に 〈's〉 とつける。
Ken's pen 「ケンのペン」 a **dog's** leg 「犬の足」 a **women's** college 「女子大学」
- ② 語尾が (e) s の複数形の名詞の場合は 〈 ' 〉 だけをつける。
a **girls'** school 「(女の子たちの学校→) 女子校」 a **teachers'** room 「(先生たちの部屋→) 職員室」

▼ 3 冠詞の種類 (a と the、無冠詞)

① a, an (不定冠詞) の意味と用法

- ① 数えられる名詞の単数形につける。
- ② **不特定の1つ**、1人を表す。
- ③ **発音が母音 (a, i, u, e, o) の単語の前では an になる。** (例 an apple / an old man)

② a と the のネイティブ感覚

< a >

[]

< the >

[]

◆ the (定冠詞) がつく条件 ← メチャクチャ重要!

① 常識的に1つに決まる。	the sun 「太陽」 the sea 「海」 the earth 「地球」 Mt. Fuji is the tallest mountain in Japan. (←最上級) など。
② その場の状況で決まる。	Open the door. 「 その ドアを開けて。」 Look at the map. 「 その 地図を見て。」
③ 文脈上1つに決まる。	I saw a dog yesterday. The dog has blue eyes. 「僕、昨日犬を見たんだ。 その 犬は青い目をしてたよ。」

★★★ 「a」の特殊用法

「a」には「~につき」という意味もある。

- a. He reads two books **a month**. 「彼は**1ヶ月に(つき)** 2冊本を読む。」
- b. My brother goes to a cram school **twice a week**. 「兄は**(1週間につき→) 週2回**塾に行く。」

③ 無冠詞の特徴

無冠詞：名詞の前に冠詞（a, the など）がつかないもの。

= 「名詞」に具体的な形がないという証拠！

a-1. I ate a chicken . 「僕は_____を食べた。」
a-2. I ate chicken . 「僕は_____を食べた。」
b-1. I ate a salmon . 「私は_____を食べた。」
b-2. I ate salmon . 「私は_____を食べた。」
c-1. My mother went to the school yesterday. 「お母さんは昨日学校に行った。」
c-2. I go to school by bus . 「僕はバス（_____）で学校（_____）に行く。」
d-1. Look at those pumpkins ! 「あのカボチャを見てよ。」
d-2. How much pumpkin did you put in the soup? 「スープにカボチャをどのくらい入れた？」

「難しいな」って思った！？

心配しなくても大丈夫！ テストではここまで聞かれることはないで！

ただ、**英語を話している人の感覚**を知ってほしいな、って思って紹介してん。機械的に英語を話しているんじゃないくて、**生き生きと話す英語**を知ってほしいなって。その奥深さにちょっとでも「お～！」って思ってくれたら嬉しいかな。(> <)